

## 建設機械市場の現状

### 1. 建設機械出荷金額推移

2013年度の建設機械出荷金額（内需・外需の合計）は、2兆3,352億円で前年度比8%の増加となった。内需は1兆93億円で前年より29%の増加となったが、外需は1兆3,258億円で前年より3%減少となっている。

内需について製品別に見ると、トンネル機械が24億円で前年より6%の減少であった以外は全て増加となった。増加率の大きい順では、コンクリート機械が264億円で50%、油圧ショベルが3,581億円で40%、基礎機械が302億円で36%、建設用クレーンが1,645億円で33%の増加を示した。

また、外需について製品別に見ると、建設用クレーンが1,101億円で前年より39%の増加、ミニショベルが1,375億円で15%の増加、コンクリート機械、道路機械も増加であったが、トンネル機械が30億円で48%の減少となり、トラクタ、油圧ショベル、基礎機械も減少を示し、外需全体で3%の減少となった。

表一に「建設機械出荷金額実績（内需・外需）」の推移を示す。

### 2. 市場動向

#### (1) 国内市場

建設機械の国内出荷金額実績は、図一に示すとおり、2007年度までは建設投資（名目値）が減少傾向であるのに、排ガス規制による代替需要、中古車の海外輸出を背景にレンタル業を主とした更新需要により、増加基調を継続していた。

しかし、2008年9月のリーマンショックを発端とする世界同時不況は、輸出主導・外需依存で長期に亘って成長を続けてきた日本経済に深刻な影響を与え、建設機械市場においても極めて厳しい環境となり、2008年度から2年連続して大幅な減少になったが、2010年度については、公共投資は低水準で推移するものの、民間建設投資は一部好材料もあり、回復基調に転じた。

こうした中、2011年3月に東日本大震災が発生し、2011年度以降はこれの復旧・復興に起因するリース・レンタル向け等の需要により、建設投資の増加と共に、建設機械の出荷金額は増加傾向を堅持していく。

表一 建設機械出荷金額実績（内需・外需）

		(百万円)											
		2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
トラクタ	内 需	63,612	67,375	73,470	79,907	91,222	86,751	68,094	49,643	55,364	67,182	92,194	114,555
	外 需	100,236	108,696	162,962	205,721	245,577	309,147	257,243	88,865	185,865	238,442	202,400	189,219
	計	163,848	176,071	236,432	285,628	336,799	395,898	325,337	138,508	241,229	305,624	294,594	303,774
油圧ショベル	内 需	159,521	192,052	214,172	238,281	274,009	295,296	197,598	99,556	138,014	197,032	255,476	358,163
	外 需	246,681	345,935	400,994	478,539	591,749	719,983	595,586	326,209	655,519	760,735	559,611	520,006
	計	406,202	537,987	615,166	716,820	865,758	1,015,279	793,184	425,765	793,533	957,767	815,087	878,169
ミニショベル	内 需	50,683	57,222	64,408	70,268	79,449	79,793	49,022	30,883	42,404	57,551	71,141	85,380
	外 需	51,793	77,065	108,351	139,938	162,416	186,806	96,291	52,449	99,424	124,263	119,367	137,599
	計	102,476	134,287	172,759	210,206	241,865	266,599	145,313	83,332	141,828	181,814	190,508	222,979
建設用クレーン	内 需	75,703	88,724	100,310	122,191	146,263	170,066	151,053	83,700	83,071	106,582	123,277	164,536
	外 需	23,539	29,454	44,617	54,577	87,490	117,935	138,168	64,616	63,442	75,053	79,265	110,171
	計	99,242	118,178	144,927	176,768	233,753	288,001	289,221	148,316	146,513	181,635	202,542	274,707
道路機械	内 需	32,521	34,443	33,353	28,383	29,012	29,515	23,546	18,270	23,649	26,464	32,883	38,762
	外 需	12,338	14,134	18,361	22,299	32,389	43,926	39,836	20,260	27,745	31,258	27,523	30,656
	計	44,859	48,577	51,714	50,682	61,401	73,441	63,382	38,530	51,394	57,722	60,406	69,418
コンクリート機械	内 需	20,312	23,955	21,346	21,273	21,516	22,988	15,931	13,927	10,877	14,912	17,579	26,454
	外 需	3,290	2,571	2,082	1,777	2,231	3,229	1,704	798	896	1,107	1,342	1,660
	計	23,602	26,526	23,428	23,050	23,747	26,217	17,635	14,725	11,773	16,019	18,921	28,114
トンネル機械	内 需	31,639	34,896	20,580	17,724	14,047	7,724	12,254	14,793	5,886	6,468	2,629	2,465
	外 需	3,398	12,887	13,165	8,648	6,642	5,923	6,608	3,357	2,659	6,108	6,003	3,079
	計	35,037	47,783	33,745	26,372	20,689	13,647	18,862	18,150	8,545	12,576	8,632	5,544
基礎機械	内 需	14,257	13,983	13,167	15,508	18,139	24,787	22,869	18,851	17,821	18,822	22,108	30,207
	外 需	260	654	1,449	984	1,229	2,118	2,689	2,497	3,010	3,684	4,169	3,383
	計	14,517	14,637	14,616	16,492	19,368	26,905	25,558	21,348	20,831	22,506	26,277	33,590
油圧ブレーカ・圧砕機	内 需	11,758	13,135	13,426	14,820	15,915	16,537	11,680	6,322	8,205	12,885	13,499	16,164
	外 需	7,414	8,060	9,114	11,099	13,481	15,209	11,267	6,884	10,196	8,061	7,115	7,033
	計	19,172	21,195	22,540	25,919	29,396	31,746	22,947	13,206	18,401	20,946	20,614	23,197
その他建設機械	内 需	43,285	45,605	46,532	47,607	53,323	55,609	47,952	31,938	35,603	56,396	47,715	58,513
	外 需	50,797	74,008	101,290	144,259	197,527	249,295	226,313	135,072	243,644	257,111	202,444	173,139
	計	94,082	119,613	147,822	191,866	250,850	304,904	274,265	167,010	279,247	313,507	250,159	231,652
補給部品	内 需	106,865	106,343	102,269	101,577	104,167	101,204	89,678	89,691	90,098	98,807	101,709	114,173
	外 需	63,616	71,189	87,865	95,307	112,760	131,888	131,696	103,599	159,587	181,432	160,061	149,927
	計	170,481	177,532	190,134	196,884	216,927	233,092	221,374	193,290	249,685	280,239	261,770	264,100
合 計	内 需	610,156	677,733	703,033	757,539	847,062	890,270	689,677	457,574	510,992	663,101	780,210	1,009,372
	外 需	563,362	744,653	950,250	1,163,148	1,453,491	1,785,459	1,507,401	804,606	1,451,987	1,687,254	1,369,300	1,325,874
	計	1,173,518	1,422,386	1,653,283	1,920,687	2,300,553	2,675,729	2,197,078	1,262,180	1,962,979	2,350,355	2,149,510	2,335,246

<参考>

- ・道路機械 : ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ、平板式締固機械、アスファルトフィニッシャー、モータグレーダ、ロードスタビライザ、アスファルトプラント 等
- ・コンクリート機械 : コンクリートポンプ車、トラックミキサ車、コンクリートパイプレータ、コンクリートプラント 等
- ・その他建設機械 : ドリル、可搬式コンプレッサ、重ダンプトラック、不整地運搬車、建設廃棄物破砕機 等

# 統計

2013年度は引き続き震災復興に起因するリース・レンタル向けの需要、公共・民間投資の増大による需要、2011年次排ガス規制の生産猶予期限終了に伴う旧型機の需要、好調な除雪需要等により、出荷金額も前年度比29%の増加となった。

図-1に「建設機械出荷実績（内需）」と「建設投資（名目値）」の推移を示す。

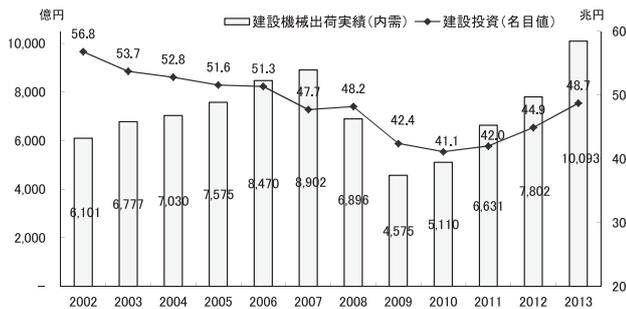


図-1 建設機械出荷実績（内需）／建設投資（名目値）

建設機械の主力製品である油圧ショベルの国内出荷台数は、図-2に示すとおり、2002年度以降2007年度まで5年連続増加していたが、2008年度は前年度比38%の減少、2009年度は50%と大幅な減少となった。

2010年度はリース・レンタル業を中心とした需要増により増加に転じ、2011年度以降については震災の復旧・復興に起因するリース・レンタル業を中心とした需要増により2011年度は前年度比58%増、2012年度は25%増を示した。

2013年度は引き続き震災復興に起因するリース・レンタル業の需要、公共・民間投資の増大、排ガス規制の生産猶予期限終了に伴う旧型機の需要があり、前年度比42%の増加となった。ミニショベルも油圧ショベルと同様の推移を示しており、その傾向を図-2に併せて示す。

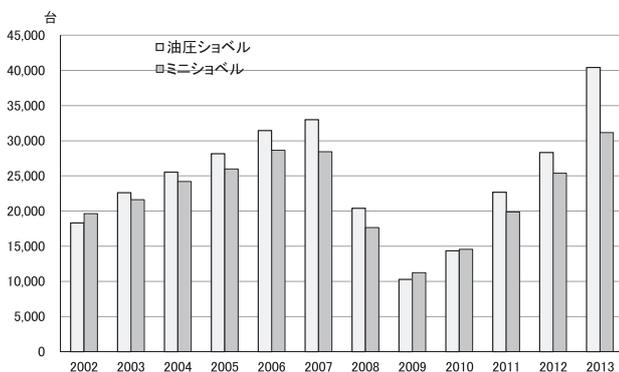


図-2 油圧ショベル国内出荷台数

## (2) 海外市場

図-3に示すとおり、2002年度以降、主要なマーケットである北米・中南米地区、欧州の好調な経済成長を背景に、また高成長の著しいアジア地区にも牽引され、2007年度まで増加傾向であった。

しかし、2008年9月のリーマンショックを発端とする世界同時不況により、2008年度は前年度比17%減少、2009年度は前年度比54%減少と大幅な減少となったが、2010年度については、中国・アジアを中心とした新興国および資源開発国向けの需要の増加に加え、米国市場、欧州市場等の回復により、前年度比79%の増加に転じた。

2011年度は中国への輸出額が前年度比で36%減少し、他の地域での前年に続く需要増にもかかわらず、全体では前年度比の25%増加であった。

2012年度は中国の前年に続く59%の大幅減少と、他の地域も軒並み減少に転じ、全体では前年度比19%の減少となった。

2013年度は中近東で前年度比31%増、欧州で19%増の輸出額があったが、中国で前年度比41%の減少とその他の地域での減少があり、全体で3%の微減であった。

地区別に見ると、中国41%減少[265億円]、中国を除くアジア15%減少[1,486億円]、北米・中南米2%減少[3,779億円]、旧ソ連・東欧23%減少[628億円]、欧州19%増加[1,539億円]、中近東31%増加[923億円]、オセアニア23%減少[707億円]、アフリカ7%減少[479億円]となった。

図-3にコンポーネントを除いた「建設機械完成品地域別輸出金額」の推移を示す（2002年度より、アジア地区を「中国」と「アジア（中国除く）」に区分した）。

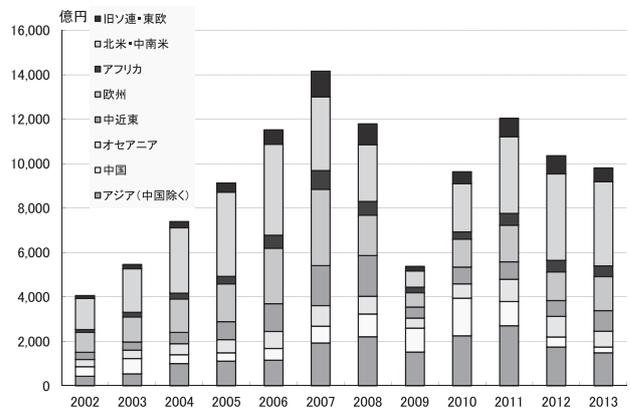


図-3 建設機械完成品地域別輸出金額

図-4に「建設機械別海外出荷金額」の推移を示したとおり、製品別に見ると2013年度の海外出荷金額において油圧ショベルが5,200億円と全体の39%を占める。また、トラクタは1,892億円と全体の14%、ミニショベルは、1,376億円と全体の10%を占める。前年度と比較すると、油圧ショベルは金額で7%減少、製品別構成比率で2%の減少となっている。ミニショベルは金額で15%増、構成比率は1%の増加となった。

### 3. リース・レンタル動向

2013年度の国内におけるリース・レンタル業向け出荷金額比率（主要5製品）は43%と前年度比1%増加となり、引き続き増加傾向を示している。

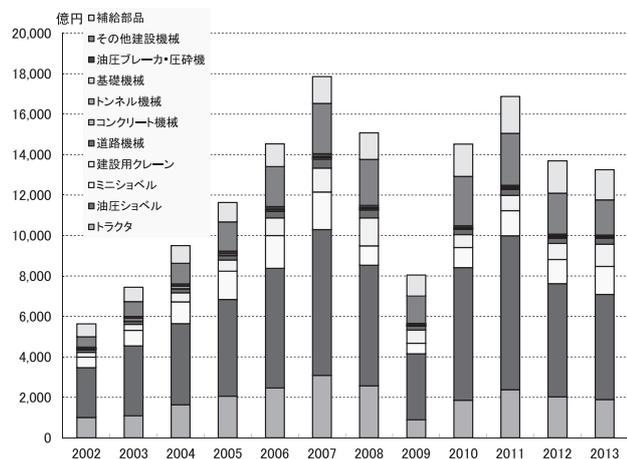


図-4 建設機械別海外出荷金額

表-2に補給部品を除いた建設機械本体の「業種別（リース・レンタル/その他）国内出荷金額実績」の推移を示す。

国内市場の主力製品である油圧ショベルのリース・レンタル比率は53%と前年比2%増加、ミニショベルは49%と前年比1%減少となった。

図-5に「リース・レンタル業向け出荷金額比率（主要5製品）」を示す。

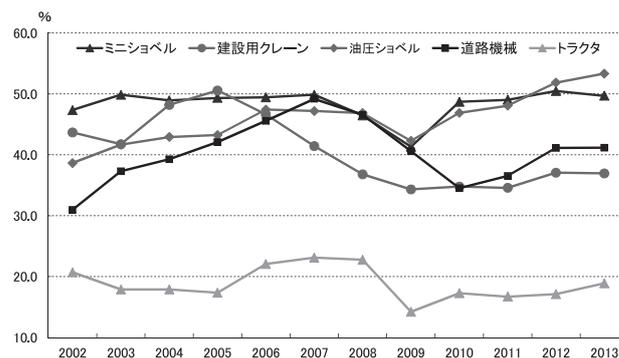


図-5 リース・レンタル業向け出荷金額比率（主要5製品）

表-2 業種別（リース・レンタル/その他）国内出荷金額実績

		2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
トラクタ	ユーザー等	50,435	55,305	60,307	66,043	71,065	66,683	52,587	42,580	45,800	55,946	76,386	92,895
	リース・レンタル	13,177	12,070	13,163	13,864	20,157	20,068	15,507	7,063	9,564	11,236	15,808	21,660
	計	63,612	67,375	73,470	79,907	91,222	86,751	68,094	49,643	55,364	67,182	92,194	114,555
油圧ショベル	ユーザー等	97,831	111,964	122,191	135,167	144,024	155,881	104,940	57,420	73,280	102,276	122,928	166,979
	リース・レンタル	61,690	80,088	91,981	103,114	129,985	139,415	92,658	42,136	64,734	94,756	132,548	191,184
	計	159,521	192,052	214,172	238,281	274,009	295,296	197,598	99,556	138,014	197,032	255,476	358,163
ミニショベル	ユーザー等	26,678	28,675	32,865	35,576	40,152	39,976	26,233	18,118	21,736	29,319	35,201	42,937
	リース・レンタル	24,005	28,547	31,543	34,692	39,297	39,817	22,789	12,765	20,668	28,232	35,940	42,443
	計	50,683	57,222	64,408	70,268	79,449	79,793	49,022	30,883	42,404	57,551	71,141	85,380
建設用クレーン	ユーザー等	42,624	51,665	51,940	60,364	78,066	99,570	95,459	54,956	54,167	69,715	77,575	103,689
	リース・レンタル	33,079	37,059	48,370	61,827	68,197	70,496	55,594	28,744	28,904	36,867	45,702	60,847
	計	75,703	88,724	100,310	122,191	146,263	170,066	151,053	83,700	83,071	106,582	123,277	164,536
道路機械	ユーザー等	22,443	21,587	20,250	16,429	15,780	14,990	12,573	10,849	15,480	16,789	19,355	22,796
	リース・レンタル	10,078	12,856	13,103	11,954	13,232	14,525	10,973	7,421	8,169	9,675	13,528	15,966
	計	32,521	34,443	33,353	28,383	29,012	29,515	23,546	18,270	23,649	26,464	32,883	38,762
コンクリート機械	ユーザー等	18,065	21,228	18,594	19,118	18,427	20,660	14,344	12,606	9,025	12,048	14,188	22,134
	リース・レンタル	2,247	2,727	2,752	2,155	3,089	2,328	1,587	1,321	1,852	2,864	3,391	4,320
	計	20,312	23,955	21,346	21,273	21,516	22,988	15,931	13,927	10,877	14,912	17,579	26,454
トンネル機械	ユーザー等	31,294	34,746	19,921	17,504	13,930	7,699	12,143	14,687	4,677	6,416	2,585	2,344
	リース・レンタル	345	150	659	220	117	25	111	106	1,209	52	44	121
	計	31,639	34,896	20,580	17,724	14,047	7,724	12,254	14,793	5,886	6,468	2,629	2,465
基礎機械	ユーザー等	12,831	12,510	11,738	14,564	17,023	22,828	21,082	18,153	15,951	15,268	17,895	28,406
	リース・レンタル	1,426	1,473	1,429	944	1,116	1,959	1,787	698	1,870	3,554	4,213	1,801
	計	14,257	13,983	13,167	15,508	18,139	24,787	22,869	18,851	17,821	18,822	22,108	30,207
油圧ブレイカ・圧砕機	ユーザー等	10,541	10,850	10,712	11,355	12,411	12,582	9,120	5,120	6,298	9,840	10,092	10,926
	リース・レンタル	1,217	2,285	2,714	3,465	3,504	3,955	2,560	1,202	1,907	3,045	3,407	5,238
	計	11,758	13,135	13,426	14,820	15,915	16,537	11,680	6,322	8,205	12,885	13,499	16,164
その他建設機械	ユーザー等	30,119	31,233	31,859	32,131	33,526	32,807	33,362	22,087	23,889	37,661	32,652	38,801
	リース・レンタル	13,166	14,372	14,673	15,476	19,797	22,802	14,590	9,851	11,714	18,735	15,063	19,712
	計	43,285	45,605	46,532	47,607	53,323	55,609	47,952	31,938	35,603	56,396	47,715	58,513
本体計	ユーザー等	342,861	379,763	380,377	408,251	444,404	473,676	381,843	256,576	270,303	355,278	408,857	531,907
	リース・レンタル	160,430	191,627	220,387	247,711	298,491	315,390	218,156	111,307	150,591	209,016	269,644	363,292
	計	503,291	571,390	600,764	655,962	742,895	789,066	599,999	367,883	420,894	564,294	678,501	895,199
補給部品	ユーザー等	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
	リース・レンタル	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
	計	106,865	106,343	102,269	101,577	104,167	101,204	89,678	89,691	90,098	98,807	101,709	101,709
内需計		610,156	677,733	703,033	757,539	847,062	890,270	689,677	457,574	510,992	663,101	780,210	996,908

注) ユーザ等とは、建設業者、官公庁など、リース・レンタル以外の全てを言う。

# 統計

## 4. 中古車市場動向

### (1) 新車販売台数と中古車発生台数

中古車の発生は下取・買取等で新車販売店に入庫するものと、中古車販売会社を買取るものとの2通りに大別される。その総発生量と新車販売台数を図一6に示す。

主要6機種とは油圧ショベル、ミニショベル、クローラトラクタ、ホイールローダ、クローラクレーン、ラフテレーンクレーンである。

図一6に示すとおり2002年度から10年間は中古車発生台数が新車販売台数を大幅に上回っていたが、2009年以降の新車販売台数の大幅な伸長によって2012年度からは逆転し、2013年度も新車販売台数が中古車発生台数を上回っている。中古車発生台数だけみると2008年リーマンショック以降中古車の発生は減少傾向を、2011年震災発生後は微増を示している。中古車と新車の台数を比率でみるとリーマンショック後の2009年度の292%（中古車/新車）を頂点として、新車台数の増加に伴い減少を示し、2013年度では78%まで減少している。

### (2) 中古車の需要傾向

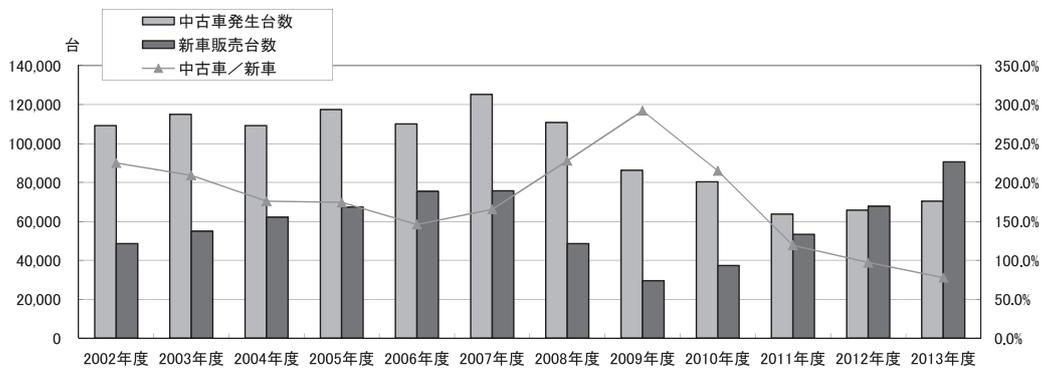
発生した中古車は一部（部品取・スクラップ等）を除き、大半が国内または海外（輸出）に販売される。これを国内・海外需要として過去の推移を図一7に示す。

図一7に示すとおり2007年度以降海外需要は減少を示していたが、2013年度若干の上向きをみせた。国内需要は継続して減少傾向にあり、結果、2013年度は外需比率が74.8%と上昇した（昨年度70.4%）。

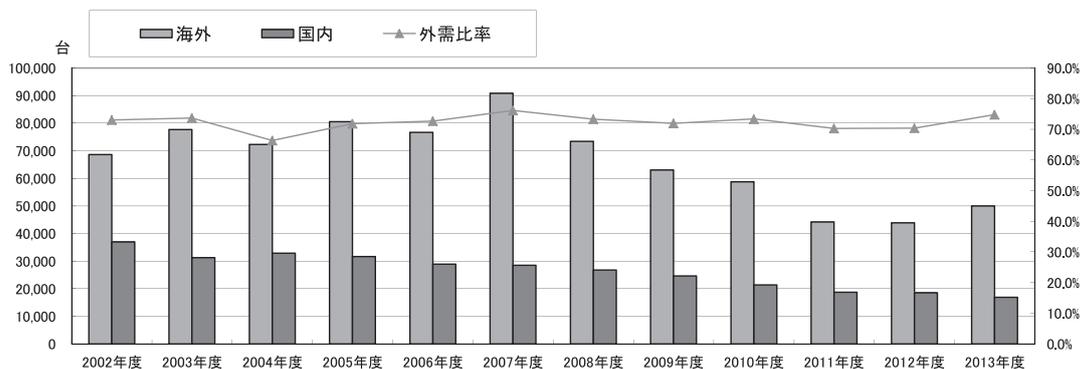
### (3) 中古車輸出状況

図一8は、2005年度～2013年度の中古車機種別輸出状況を示す。2013年度の機種構成では、油圧ショベルが約45%で最も多く、ついでミニショベル（29%）、ホイールローダ（16%）の順である。ミニショベルの構成比はここ数年で伸びを示し、2005年から2010年までは2割程度であったものが3割近い構成比を示すようになった。

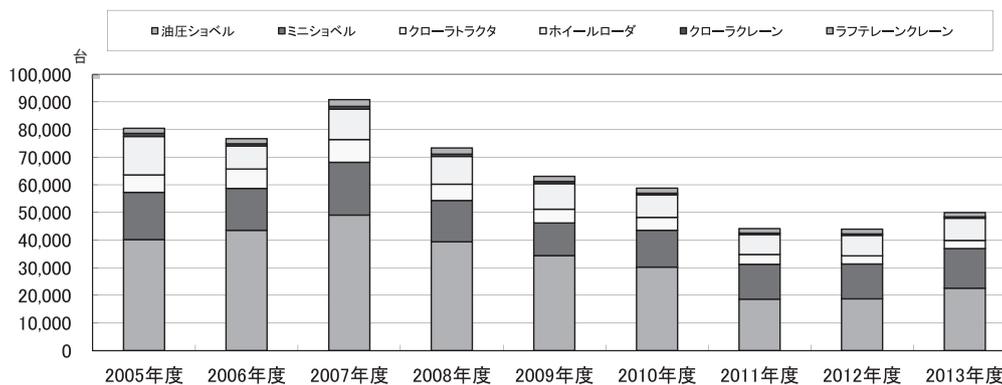
最大構成比を示す中古油圧ショベルの輸出先を見ると、図一9「中古車地域別輸出状況（油圧ショベル）」に示すとおりであり、2013年度は、「中国・香港」が中古輸出先の全体構成比で40%と昨年度27%に比べて大幅に増加している。昨年度「タイ」は2全体構成比で14%と構成比で2位、「マレーシア」「ベトナム」が10%で3位であったが、2013年度は「ベトナム」が14%と2位、以降「タイ」9%、「マレーシア」8%である。全体の昨年度に対する伸長台数は3,890台であるが、大幅な伸長台数を示したのは「中国・香港」「ベトナム」であり、「タイ」は650台の減少を示した。



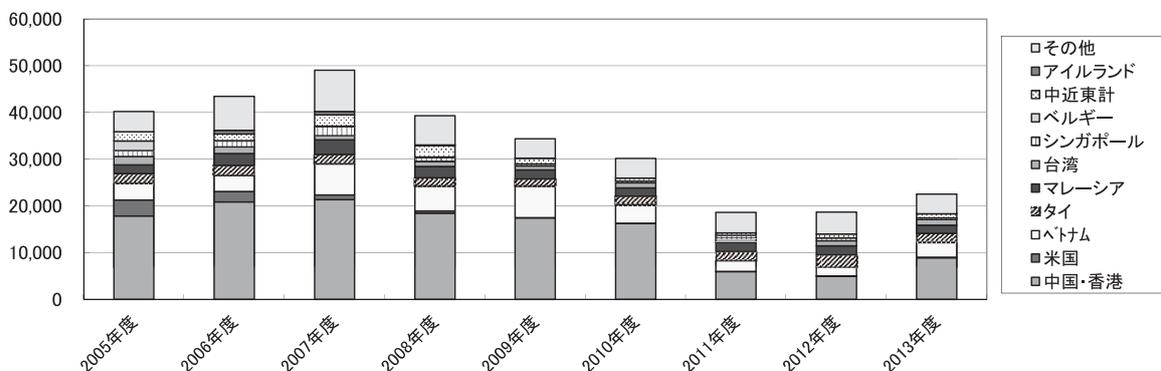
図一6 中古車発生・新車販売台数（主要6機種）



図一7 中古車需要台数の国内・海外構成（主要6機種）



図一八 中古車機種別輸出台数 (主要6機種)



図一九 中古車地域別輸出状況 (油圧ショベル)

### 5. 建設機械市場の今後の見通し

2014年度における国内市場については引き続き震災復興による需要、安定した公共・民間の建設投資による需要があるものの、2011年次排ガス規制の生産猶予期限終了に伴う旧型機需要の反動減が想定され、出荷金額は8,352億円（前年度比5%減少、補給部品を除く）と見込まれ、5年ぶりに減少すると予想される。

また、海外市場については資源開発国向けの需要は減少するものの、北米向けの需要は堅調に推移、欧州、アジアでの需要回復により、出荷金額は1兆2,535億円（前年度比7%増加）と見込まれ、3年ぶりに増加すると予測される。

尚、上記掲載統計諸資料は(社)日本建設機械工業会 発表の統計資料による。